



竹中 芳弘 議員

## 空き家への対応と その活用について



近隣住民から苦情の空き家

県下の空き家数は平成25年度調査で13万3,000戸で、空き家率は15・2%、7軒に1軒が空き家となっているが池田町の空き家はどのくらいあるのか、又倒壊の危険がある建物はどのくらいで、過去に空き家からの火災や、落下物に依る人的事故、立ち退き等に依る訴訟等の事例はあるのか、2年前の一般質問のなかで景観条例の中で検討する旨発言がありました。が、どのような対策をとられるのか。

『空き家の活用について』、都会からの田舎暮らしの希望もあり、助成金を考慮して空き家の改修ができないか。

### 建設課長

平成25年度の町、調査に依ると住宅総数8,290戸に対し810戸が空き家、空き家率は9・8%で、空き店舗、空き工場、空き事務所等も含まれている。倒壊の危機がある建物の認定は難しい。空き家の火災や老朽化に依る人的事故、訴訟等の事例は発生していない。

### 町長

現状では空き家数は1,000戸位になっているのではないかと、危惧している。町の風景、景観の悪化、火災、防犯、ごみの不法投棄もあり、豊かな自然を守る為にも景観条例の中で検討したい。又活用方法については、各地域毎に集会所等有効活用できないか、改修における助成金についても検討したい。

## 人口減少対策(企業誘致)と 移住・定住促進対策について

働く場所づくりが、人口減少対策の重要課題と考えます。永年企業誘致に取り組み成果が表れているが、さらなる考えはどうか。また池田温泉の名湯は県外にも知られたり、移住、定住につながるキャッ

チフリーズ「温泉のある町に住もう」「温泉のある池田町に住む」を「のぼり」「横断幕」「たれ幕」を作成し「ちゃちゃまる」を大いに活用して活力ある池田町づくりを提案するがどうか。

### 町長

町人口は平成21年に25,134人がピークで後、減少している。地盤強固で災害が少ないことから、アピ(株)にも増設をお願いし、土地利用計画を立ててやっていく。温泉は大切な資源なので、地方創生事業の中で考えていきたい。



「温泉のある町に住もう」(キャッチフレーズ)